



2026年6月5日

各 位

会社名 双葉電子工業株式会社
代表者 代表取締役 有馬 資明
社長執行役員
(コード番号 6986 東証プライム)
問合せ先 執行役員 石川 浩士
業務管理本部長
TEL 0475 (24) 1111

グループ経営基盤の強靱化を目的とした基幹システム刷新のお知らせ

当社は、2026年6月5日開催の取締役会において、当社グループの全社基幹システムを刷新することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本投資の位置付け

当社は、2024年5月に公表した中期経営計画において「経営基盤の強化」を基本方針の一つに掲げ、AI活用およびITインフラ最適化を中核とするDX推進を進めてまいりました。本投資は、この方針を具現化する中核的な取り組みであり、事業ビジョン「ハードを核にソフト・サービスを融合したソリューション事業領域へ」の展開を支える経営基盤を構築するものです。

2. 採用した基幹システムおよび導入時期

外部アドバイザーも含めた中立かつ多角的な比較検証を実施した結果、基幹システムとしてグローバル標準ERPソリューションである「SAP」を採用することといたしました。

まず2028年中に当社システムを稼働させ、その後、順次国内外のグループ会社へ展開してまいります。

3. 経営判断の背景

当社は、事業構造の転換過程における厳しい業績が続いており、2027年3月期におきましても引き続き営業損失を見込む状況にあります。かかる局面において、本投資の実行を決断することは経営として極めて重い判断となりました。

しかし、現行の基幹システムは老朽化による改修困難とコストが年を追うごとに増大する構造となっており、また、事業ポートフォリオの見直しや構造改革を真に成果へと結びつけるためには、全社共通の業務基盤とデータ基盤の整備が不可欠となります。

こうした状況を踏まえ、計画的かつ着実に本投資を実行し、将来の競争力を再構築し、収益基盤の立て直しにつなげる転換点と位置づけ、決断いたしました。

4. 本投資により目指す姿

本投資を通じて、当社は以下の経営基盤の確立を目指します。

単なる効率化にとどまらず、攻めの経営へ転換するための基盤を構築してまいります。

- ・グループ全体で統一された業務プロセスの実現
- ・経営データのリアルタイム把握と意思決定の高度化
- ・事業横断での顧客価値創出を支えるデータ活用環境の整備
- ・柔軟かつ迅速な事業展開を可能とする経営基盤の構築

5. 今後の方針と業績への影響

当社は、本投資を通じて業務改革を断行し、あわせて投資規律を維持しながら段階的に投資効果の創出および最大化を図ってまいります。

なお、当該事項による当社業績への影響は現在精査中であり、今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上